

この人に会いました

本年初めて湯沢町で第64回国民体育大会冬季大会スキー競技会が開催されます。そこで湯沢町実行委員会副会長・湯沢町スキー連盟会長の高橋明宏さんにお話を伺いました。



湯沢町実行委員会副会長
湯沢スキー連盟会長
高橋明宏さん(諏訪)

皆様新年あけましておめでとうございます。

今年はいよいよ湯沢町で初めての第64回国民体育大会冬季大会スキー競技会が開催されることになりました。

2月17日開会式(湯沢カルチャーセンター)、2月18・19・20日に競技が行なわれます。

会場はアルペン競技↓苗場スキー場、スペシヤルジャンプ・コンバインドジャンプ↓塩沢ジャンプ

台、クロスカントリー・コンバインドクロスカントリー↓十日町市吉田クロスカントリー競技場です。

全国より選手1、500人、監督・コーチ500人、役員等大会運営関係者1、500人、報道関係者・視察員200人、合計約3、700人の人々が集います。

平成11年9月1日、新潟県スキー連盟に、「大会候補地立候補申請書」を提出してから、あつという間の9年間でした。

先シーズンは、第57回全国高等学校スキー大会も行なわれました。湯沢町にとつては、全国と名の付く大会は、約40年

ぶりで、全日本選手権(苗場スキー場)以来だった為、役員の方々も大変ご苦労された事と思いますが、いよいよ本番の国体が、やって来ます。

そこで私は、今回の国体にあたり町民の皆様にごつお願いがあります。

第一に『スキーと温泉の町湯沢』を全国へ、アピールする絶好のチャンスとあります。

何かと不安の多い時代ではありますが、町民が一丸となり国体を盛り上げて頂きたいのです。

第二に今回の大会での地元選手の活躍を願うのはもちろんですが、スキー競技者の底辺拡大です。

私が小学生の頃父に連れられ、全日本選手権を見た時の感動は今でも忘れておりません。

1人でも多くの子供達に競技を見てもらい、何かを感じてもらいたいです。

そんな、子供達が将来の湯沢町の力になってくれるのではないのでしょうか。

最後に、準備期間も含め大会期間中、役員、関係者の方々には2月という忙しい中、ご苦労をおかけしますが、湯沢町の為、子供達の未来の為、ご協力の程宜しくお願い致します。

1人でも多くの子供



「絆(きずな)」

皆様新年明けましておめでとうございます。心配された降雪も何とか年末年始には間に合い、各スキー場も例年通り多くのスキーヤーで賑わいを見せておりました。米大手証券会社リーマン・ブラザーズの破たんに端を発した世界的な同時金融危機は日本経済にも深刻な影響を及ぼしており、決して明るい年明けとは言えませんでしたが、そうした中でも2月17日から20日まで第64回国民体育大会冬季大会スキー競技会が湯沢で初めて開催されるといった明るい話題もあります。

不況風が吹荒れる中この国体の開催が観光立町湯沢町の大きな活性化につながることを念じつつ、町民の皆様のご多幸と、ご健勝を湯沢町議会議員一同、心よりご祈念申し上げますと共に、より一層皆様に愛される議会だよりを目指し議会広報委員会一同一生懸命頑張る所存でありますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

広報対策委員会委員長
柿崎直治

編集
湯沢町議会
広報常任委員会